

躍進する進路実績

46回生(令和2年度卒)の合格状況

国公立大学 現役合格者数 89名

九州大：3名 鹿児島大(獣医学部)：1名 大阪市立大：1名

広島大：2名 熊本大：2名 大分大：20名 大分県立看護科学大：7名

本年度の国公立大学・大学校の現役合格者数は89名となりました。難関大の九州大学や獣医学部(鹿児島大)や大阪市立大をはじめ、ブロック大の広島大学・熊本大学にも合格し、地元の大分大学には20名、大分県立看護科学大学には7名が合格しました。また、私立大学にも、立命館大学や関西学院大学など延べ215名が合格しました。これは「授業」・「挨拶」・「清掃」・「部活動」などの日々の活動に「日日全力」の精神で生徒全員が心を一つにして取り組んだ成果です。安定的な進学実績は、今後の後輩たちに引き継がれ、「文武両道の雄城台」を確かなものにしてけると確信しています。

《国公立大学の主な合格状況：89名》

九州大・大阪市立大・広島大・熊本大・大分大・大分県立看護科学大・島根大・山口大・鳴門教育大・九州工業大・佐賀大・長崎大・宮崎大・鹿児島大・釧路公立大・都留文科大・鳥取環境大・島根県立大・岡山県立大・広島市立大・山口東京理科大・下関市立大・山口県立大・高知工科大・北九州市立大・長崎県立大・熊本県立大・宮崎公立大・名桜大 など

《私立大学の主な合格状況：215名》

立命館大・関西学院大・近畿大・福岡大・西南学院大・立命館アジア太平洋大・日本大学・日本体育大・京都産業大・関西外国語大・岡山理科大・環太平洋大・九州産業大・久留米大・中村学園大・別府大学・日本文理大 など

《医療・看護系の主な合格状況：23名》

別府医療センター附属大分中央看護学校・大分リハビリテーション専門学校・藤華医療技術専門学校 など

【卒業生の合格体験記より】

- *これから進路決定をしていく皆さんが思っている以上に、受験勉強は辛くて一人では抱えきれないこともたくさんあると思います。そんなときには、溜め込まずに周りに頼ってください。私にも何でも相談できる先生や友人がいたからこそここまでやってこれることができました。きつい時期を乗り越えれば明るい未来が必ず待っています。自分を信じて最後まであきらめずに頑張ってください。
- *苦手科目には早くから力を入れて勉強して、尚且つ、得意な科目も手を抜くことなく頑張ってください。私は総合点では自己ベストを出すことができたけど、苦手科目は直前まで力を入れなかったことでいつもの半分くらいしか点数を取れなかった科目もありました。成績に伸び悩んだり、やるが多くなったりして焦ることも多いと思うけど、やるべきことを一つひとつ丁寧に組みあげばきっと大丈夫です。応援しています。

在校生・卒業生からのメッセージ

～毎日が最高のチャンスだ～

夢は自分の手でつかむもの、誰かに与えられるものではありません。雄城高生は、一日一日を大切に新しい何かに挑戦するために「日日全力」で歩んでいます。

46回生 影山 昂

王子中学校出身
鹿児島大学 共同獣医学部 獣医学科



私は大分雄城台高校で3年間先生方から様々なことを学び、共に高め合える仲間と切磋琢磨することで、心身ともに成長でき志望する獣医学部に進学できたのだと確信しています。

3年間お世話になった担任の先生や学年主任をはじめ各教科の先生方はそれぞれのエキスパートです。毎日の課題でわからない点を日が沈むまで丁寧に教えてくださったり、元気がないときは一番に気にかけてくださり相談ののってくれたりしました。多感な高校生として何度も先生方と議論することもありましたが、今となっては先生方全員が信頼でき、尊敬できる存在であると自信を持って言えます。また、陸上競技部に所属しながらも勉強が両立できたのは共に励まし合い協力できた部員である仲間がいたからに他なりません。雄城高の強みは高いレベルでの文武両道です。全国大会の常連である部活動も多く、アドバンストクラスを含め、たくさんの生徒が勉強も部活動も精一杯取り組んでいます。

毎日私たちを暖かく照らしてくれる朝日とともに昇る雄城坂や美しい霊山を背に、ここ大分雄城台高校でかけがえのない3年間を過ごし、夢への第一歩を踏み出してみませんか。

47回生 田仲 奏大

植田南中学校出身



大分雄城台高校は「文武両道」をスローガンに掲げ、「日日全力」の精神のもと学問と部活動を両立させています。本校には通学路に雄城坂があり、その坂を上がると豊かな自然に囲まれ、勉強する環境としては非常に恵まれた環境に校舎があります。校舎内には自主学習用の学習スペースが数多く設置されており、雄城校生はこのスペースを放課後などに有効活用し、学力向上に取り組んでいます。また、雄城台の先生方に自分の分からない問題を聞きに行くと、とても丁寧に教えてくれます。そして、授業もとても丁寧で、先生は親しみやすく楽しく勉強できます。

私は生徒会に所属し、2年次の後期には生徒会長になり学校をより良くするために、さまざまなことに取り組んできました。雄城台高校は生徒会活動が活発で、執行部を中心に学校生活をよりよいものにするため、生徒の声を取り入れながら活動しています。高校は中学と異なり、生徒が様々なことを決めていくので、自分で創造し行動する力を培うことができます。生徒会だけでなく、どの部活動においても活気に溢れていて積極的に部活動を行っています。

私は雄城校生が自主的に行っている雄城坂でのあいさつや、積極的に色々なことにチャレンジしようとするチャレンジ精神を誇りにしています。雄城台高校での高校生活は、想像以上に楽しいものです。一生に一度の思い出に残る高校3年間にするために、自らの行動で充実した高校生活を私たちと一緒に過ごしていきますか。

48回生 後藤 咲良

植田南中学校出身



大分雄城台高校は、たくさんの仲間たちと勉強、部活動、さまざまな行事に全力で取り組むことができる学校です。スローガンとして、「文武両道」を掲げていることもあり、勉強の時間も部活動の時間もしっかりと確保することができるので、どちらかが疎かになることなく、取り組むことができます。

生徒のほとんどが部活動に所属しており、グラウンドからは運動部の声がよく聞こえてきます。県の強化部に指定されている部活動もいくつかあり、全国大会で上位入賞を果たしていたり、文化部では各コンクールでさまざまな賞を受賞していたりと、優秀な成績を残しています。また、学習面では、習熟度別の授業や、授業前に行われる小テスト等を通して、着実に学力を身に付けていくことができます。テスト前には、放課後学習が行われ、分からないことは休み時間や放課後に、先生に気軽に質問に行くことができます。学校内には、自主学習用の学習ブースが設置されているので、一人で集中して学習したい人にとっても最適な環境が整っています。

秋頃には「九月祭」と呼ばれる学校行事があります。体育の部と文化の部に日を分けて行われ、総称して「九月祭」と呼ばれています。生徒一人ひとりが何らかの役割を担い、各クラスの個性が表れる行事で、生徒たちは各々の力を発揮し、ひとつのことに大勢で取り組むことで友情を深めています。

私は大分雄城台高校で過ごす毎日の中で、さまざまな力を身に付け、充実した日々を送ることができています。みなさんも、「誠実・自主・創造」の校訓の下、「日日全力」で楽しい3年間を大分雄城台高校で過ごしてみませんか。

49回生 首藤 彩花

挾間中学校出身



入学前は礼儀に厳しくて固いイメージが強かったのですが、実際に入学してみると、やる時にはやる、楽しむ時には楽しむというメリハリのある生活を送っている先輩方がたくさんいました。高校では中学校に比べて、社会に出た時の自分を考える機会が増えましたが、雄城台高校で前向きにいろんなことに挑戦することで、社会に出た時に恥ずかしくない大人になりたいと考えるようになりました。

後輩にぜひ伝えたいのは、雄城台高校は先生と生徒の距離が近いということです。質問にいくとわかるまで何回も教えてくれて、わかるとほめてくれるので、自信がつかます。

今では全ての教科で積極的に質問するようになりました。部活動も熱い思いを持った先輩方の背中を追いかけて頑張っていて、毎日が充実しています。